

セルローズファイバーの導入者であり創始者でもある Zテクニカだからできる、確かな技術。1979年からの経験です!

防虫

ホウ酸は、弱酸性で緩消毒性を持つので、目の洗浄に、風邪予防のうがい薬、食器の消毒に巾広く使われてきた。住まいにおいては、シロアリ、ゴキブリなどの害虫を死滅させるのではなく寄せつけません。

防錆

ホウ酸に触れている金属はテストによれば通常金属に比べ160倍の防錆性があるという。構造体に金属を多く使う最近の工法では隠れた力持ちがいろいろにも頼もしい。

省エネ

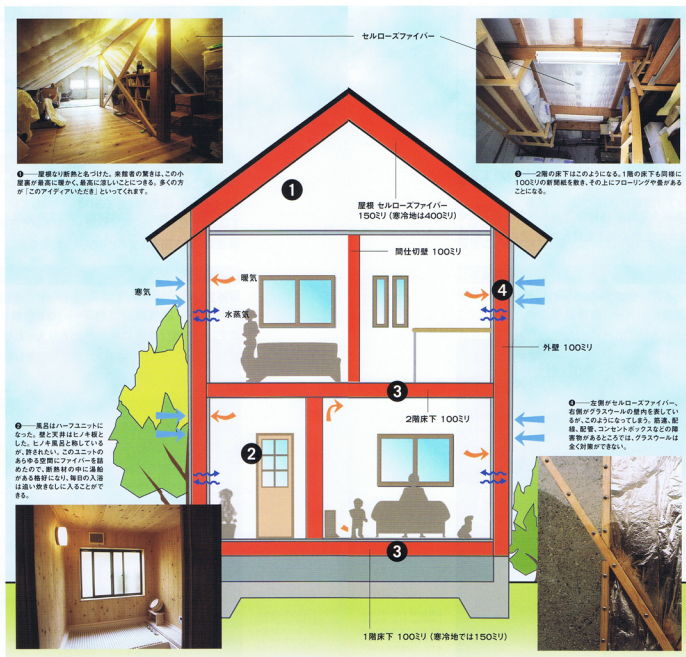
ミニシャル、ランニング、トータルコスト、どれを取り出しても頭抜けた省エネであり、他を全く寄せつけません。

安全

断熱材としては一番の古株で、60歳を過ぎる歴史がある。欧米、北欧においても急激に伸びてきているのは、安全という切り札を見出したからといわれている。

防カビ

結露がゼロであればカビことはありません。



断熱性

セルローズファイバーは機械で吹き込むものだから、隙間なく吹き込むことが出来る。完全な断熱施工は非常に難しいものですが、それが易々と出来るので完全な断熱を得る。



防音

住まいのトラブルは8割近くも音が占めている。Z工法ではえて防音目的で2階床下、間仕切りまでセルローズファイバーを充填している。長い経験から住まいの防音を重視しているからである。ピアノやカラオケでも隣家に迷惑はかけません。

調湿

調湿という言葉が、どこにも出てこないほど建築は様変わりしたが、自然の調湿がなければならぬ。調湿といえば土蔵が引き合いに出てきますが、セルローズファイバーは土蔵を遥かに超えた働きをしています。結露がなければ住まいは100年以上が普通になります。

耐火

新聞紙が燃えない。セルローズファイバーの面白さは、そのことに尽きる。ホウ酸の溶解温度は2300℃であり、新聞紙が表面炭化するだけで燃えることはない。化学系や窯業系断熱材のように有毒ガスは発生しない。これは火災時だけでなく、被害する場面にも重要なことだ。

